

豊中市伊丹市クリーンランド リサイクルプラザ

Toyonaka City Itami City Clean Land Recycle Plaza

No. 04-006-2011作成

新築

工場・物流施設

発注者	豊中市伊丹市クリーンランド	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	日立造船・奥村組特定建設工事共同企業体	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	日立造船・奥村組特定建設工事共同企業体	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

環境に配慮したリサイクル施設



建物外観全景



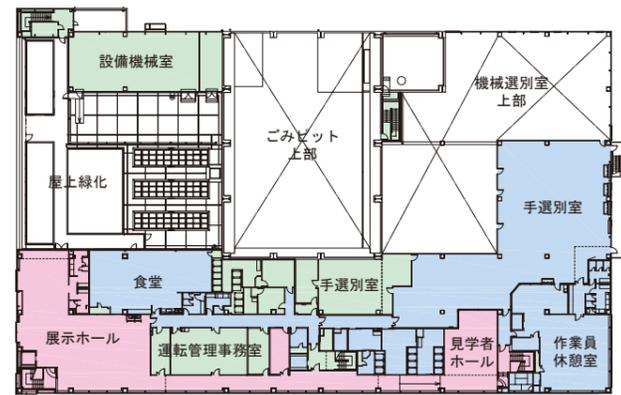
プラットフォーム



手選別室



見学者ホール



3階平面図

工場エリア 知的障害者就労エリア 見学エリア

■DBO方式によるリサイクル施設計画

『森の中の再生工場』という全体コンセプトのもと、豊中市伊丹市クリーンランドでは新たなリサイクル施設および焼却施設の建替事業を進めているが、本事業はDBO(Design Build Operate)方式により新たなリサイクル施設の設計・建設及び運営を委託されたものである。

本施設は大阪府豊中市と兵庫県伊丹市の両市から排出される不燃ごみ、粗大ごみ、資源物(ビン類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、缶類、古紙・古布、剪定枝)を適正に処理し、安定した性状・品質を持つ製品として、二次処理施設へ供給する。

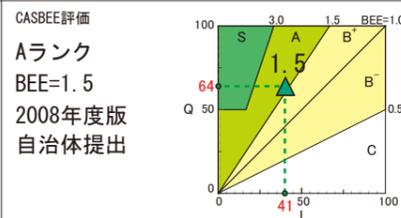
また、製品化の過程に沿った見学者ルートを設けており、環境啓発施設としての役割も担っている。

■作業員へのハード面での配慮

手選別工程にて知的障害者作業員を採用しているのも本施設の特徴の一つである。色によるエリア分け、分かりやすいサイン計画など、作業員へのハード面での配慮も積極的に行っている。

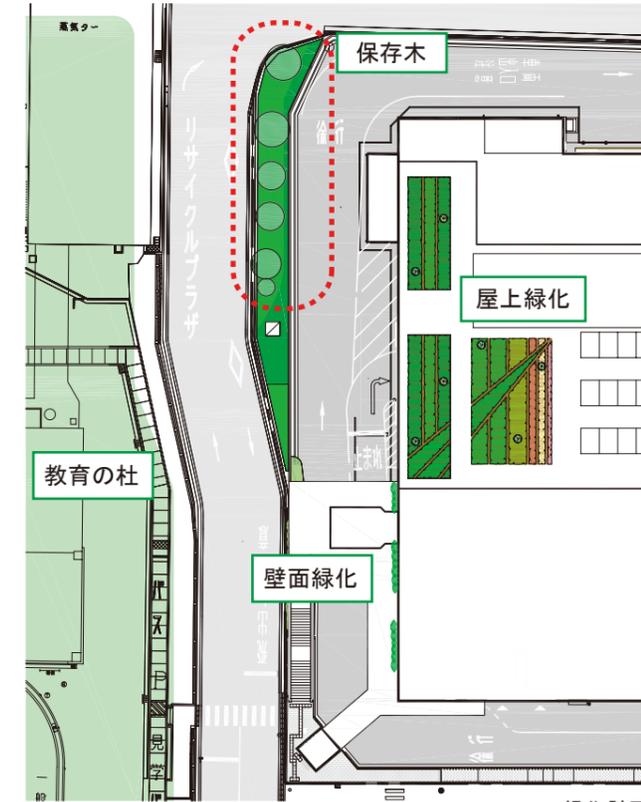
建物データ

所在地	大阪府豊中市
竣工年	2012年
敷地面積	19,010㎡
延床面積	11,079㎡
構造	S造一部SRC造
階数	地上3階



■将来の“大きな自然”に呼応した“小さな自然”の計画

外構デザインのコンセプトとして“大きな自然”と“小さな自然”による構成を掲げた。将来、本施設の西側には学習やふれあいの場として機能する「教育の杜(もり)」の整備が予定されており、この「教育の杜」との緑化による一体的な空間づくりを意図したものである。「教育の杜」を“大きな自然”と捉え、それと呼応するように本施設の限られたスペースの中には屋上緑化や外構緑化により構成される“小さな自然”を配し、一体感を生み出すよう計画した。また、敷地内に残る立派なクスノキなどの既存樹木は可能な限りの保存を行い、見学者の出迎えの場として施設の顔となるエントランスには身近に緑を感じ取れるよう壁面緑化を設置するなど、重ねて緑化に配慮した。



緑化計画



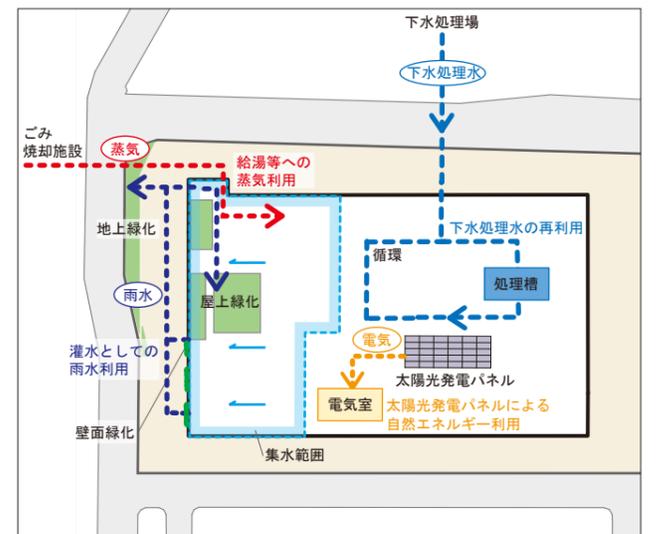
屋上に設けられた「小さな自然」



壁面緑化によりエントランスを演出

■多数の環境配慮技術の採用

リサイクル施設という環境配慮を目的とした施設に相応しい建物を目指した。下水処理場に近接するという敷地特性を活かし、下水処理場より供給される下水処理水を再利用するシステムを採用しており、プラント用水やトイレ洗浄水として再利用を行うことで、水資源の保護に寄与している。その他、植栽の灌水としての雨水利用、太陽光発電パネルによる自然エネルギー利用、ごみ焼却施設より得られる蒸気の有効利用など、多数の環境配慮技術を取り入れることにより、CASBEE評価でAランクを得ている。また施設管理の面にも配慮しており、外壁には光触媒塗料を施すことでメンテナンス性の向上を図っている。



環境配慮技術

設計担当者

統括：黒瀬晴司/建築：吉川智史/構造：遠山裕史/設備：得田健一/電気：梅谷正彦

主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性(光触媒塗料)
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出(外構緑化、建築緑化)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用(太陽光発電)
- LR2. 1. 水資源保護(雨水利用、下水処理水利用、雑排水循環利用、節水型機器)